

□■□ 令和2年度 いちのみや探究デー 数学科研修 □■□

■ 日時：11月14日（土）

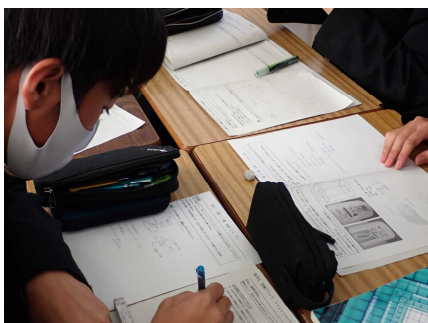
- ① 研究授業（13：20～14：05，於：2-5）
 - ・授業者：岡村忠幸先生（岡山一宮高校）
- ② 研究協議（14：20～15：30，於：会議室）
 - ・招聘講師：中山芳一先生（岡山大学 全学教育・学生支援機構 准教授）

■ 研修のねらい

「探究の一宮」を合い言葉に、i コンピテンシーの5つの資質能力の向上と関連付け、探究型の授業を研究実践し、教員一人ひとりのスキル向上を図る。

■ 研修の概要

- ① 研究授業（13：20～14：05，於：2-5）



トイレットペーパーの体積の求め方を考察する学習過程を通じ、「根拠を示して、他者に自分の考えを伝えようとする態度の養成」を目的として授業展開した。（i コンピテンシー「論理的思考力」と関係）

形態は4～5人のグループ協働学習であったが、予め個人で考えてきた内容をベースに当初から活発な意見交換が認められた。生徒同士の混沌とした討議の中から、試行錯誤や意見統合を通して協議の精度が上がっている班も散見された。ブレークスルーの爽快感と共に「もっと知りたい」「もっと考えたい」といった問題解決的な活動が発展的に繰り返されていくような印象であった。

中締めとして、生徒発表を行ったのち、個人でまとめる時間を確保し、生徒の探究欲求が高まったところで次時につなげた。

- ② 研究協議（14：20～15：30，於：会議室）



授業実施者の岡村先生から、授業のねらい等について振り返って頂いたのち、「本時の公開授業で探究活動であった瞬間」をきっかけにグループ協議した。その際、成果と課題を中心に意見集約をお願いし、その後のグループ発表を通して成果物を共有した。（アプローチの方法論には多少の違いがあったものの、生徒育成観に於いては一致しており、意を強くした。）

以上の取り組みを受け、岡山大学 准教授 中山芳一先生より、探究型授業についての考え方をご教示頂いた。さらに、先の協議発表を受けて、「Q1精緻な考えを求めすぎる課題が“探究課題”として適切なのだろうか？」「Q2今後（本時以降で）、どのようにまとまっていくのだろうか？」といった新たな問いを提示され、再度協議し意見共有していく中で、参加者全員がよりいっそう「探究型授業」の目指すものへの理解を深めていった印象を受けた。

本校 i コンピテンシーの5つの資質能力の向上と関連付けた探究型授業の実践にあたり、大きな指針を得たのと同時に、生徒の活動を見取る観点と仕掛けづくりの大切さを再認識された。